

アクセルを踏むな、ブレーキを緩めよう。

審査員に不要なブレーキをかけたり、アクセルを踏んだりしていませんか？
ブレーキを緩めれば力量は上がります。



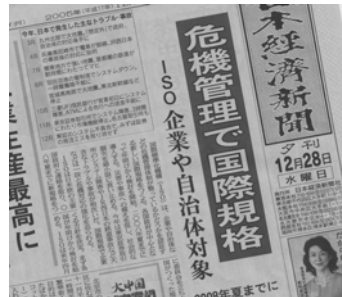
力量とは何か？（NJC 審査員研修-本社にて）

新日本認証サービス株式会社（NJC）はアイルランド認定協会（INAB）から認定を受けている Certification Europe Ltd.（CEL）との提携により審査をしています。

トピックス・お知らせ

12月28日の夕刊

また ISO ですか！
審査対象の規格に
しないで下さい。
危機管理なんて
自分でやるものです。



14001 や 9001 でも
リスクマネジメントの手法を使うよう奨励され
ているのにまともなリスク評価をした組織には
殆んどお目にかかっていません。

5月に情報管理の研修コースを開きますが、パ
フォーマンス強化のコースとして ISO14001 や
9001 でリスク管理する方法を訓練する計画です。

ISO 認証制度にとって審査員の力量アップが大きな課題です。しかしこの力量は SIC コードの下何桁の経験がど
うのと管理というアクセルを踏みながら一方でブレーキ
をかけるよりも、どのようにしてマネジメントシステム
の考えを審査で実現できるかということを審査員が考え
ていくように審査機関が訓練をしていくことが大事で
す。

そもそも ISO マネジメントシステムの審査に必要な力量
とは何でしょうか、マネジメントシステムの審査をする
のに SIC コードの下何桁の経験などあまり重要ではあり
ません。あれもこれも経験している人なんていませんし、
もしいたとすれば「何にもしていなかった」とことと同じ
です。

組織の経営者と対等に話が出来ますか？（審査員という
立場をはずして）ISO の規格要求事項と経営に必要な事項
との関係を、自信をもって経営者と話せますか？

経営者はどんなに小さな会社の経営者でも審査員とはま
ったく違った次元の経営観 = 夢を持っておられます。

審査員が過去に大会社の部長の経験があろうと、取締役
の経験があろうと、どんなに QC のベテランであろうと実
際に最高経営者として会社を運営されている社長よりも
経営という視点で優れているとは限りません。

経営者はただ ISO にどんなブレーキがかかっているかを
ご存じないだけです。

ISO の規格は単に経営のために（環境・品質・安全などの
視点で）利害関係者が期待している事柄が shall となっ
て記述されているだけです。

「どのように」は経営者に任されています。そこにとん
でもないアクセルを踏んだりブレーキをかけたりしない
ことが必要です

そう、ブレーキを緩めれば車（システム）は自然に前に進みます。



新日本認証サービス株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町1-5-7 西村ビル704

電話 06-4964-6881 FAX 06-4964-6882 <http://www.njc-jp.com>

Certification Europe Ltd.

157 Thomas Street, Dublin 8, Ireland